

学校教育目標	
認めあい 高めあい 助けあい ゆたかに花咲け保中生 ○自らすすんで学び、考えを深める生徒を育てます。(知) ○人権を尊重し、自分も他者も大切に育てます。(徳) ○心と体を鍛え、元気で明るい生徒を育てます。(体) ○地域の一員として、地域を大切に、自ら行動を起こす生徒を育てます。(公) ○日本の歴史・文化への理解を深め、広い世界で活躍できる生徒を育てます。(関)	
教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	
<自己も他者も尊重する力> <社会と関わっていく力> <すすんで挑戦し、向上していく力>	具体化した資質・能力 ・相手の立場になって考えることができる ・自分の存在意義を認めることができる ・自分の考えや思いを言葉にして、周囲に伝えることができる ・失敗を恐れず前向きに考えることができる
中期取組目標	
○生徒理解に基づき、一人ひとりに寄り添った生活指導や支援の充実に努めます。 ○誰もが意欲を持って取り組め、基礎・基本の定着を図るため、楽しく分かりやすい学習指導の充実に努めます。 ○自他を尊重できる環境を整え、「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ○より良い学校生活を送るために、生徒一人ひとりが自ら考え、主体的に特別活動に取り組む学校を目指します。 ○学校行事や様々な活動に一生懸命に取り組むことを互いに認めあい、自信をもって何事にも挑戦していく姿勢を奨励します。 ○快適な生活空間整備のため、ゆたかに花咲く環境作りを目指します。 ○地域ボランティアをはじめとする地域との関わりや集団活動の中で自己有用感を育みます。	

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 情報教育 担当 教務係・情報係	①基本的な学習習慣の定着に向けて個に応じた助言や指導を増やす。②「GIGAスクール構想」実施にともない、生徒の学びに効果的なICTの活用をすすめる。③資質・能力の育成を図るため、教員相互の連携や研修の機会を設定し、様々な場面で授業改善を推進する。

学力向上に関わる本校の状況

新2・3年生については、学習意識、生活意識は市の平均と同等程度であるが、学力は全体的に市の平均に届いていない実情がある。知識・技能の基本問題と思考・判断・表現の活用問題の平均の比較をしても、各教科とも同じような結果である。学力の実態を把握してうえで、生徒たちに確かな学力を培ってけるように、全職員で授業改善に励み、授業力の向上に邁進していきたい。

今年度の目標	
・効果的にICTを活用し、生徒の学力向上に努める。 ・生徒の学力向上のために授業改善に取り組む。	
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	・家庭学習の在り方を各教科で提示し、定期テストでの学習計画を活用しながら学習する習慣をつける。 ・基礎学力の定着を図るため、学習支援を定期的に行う。 ・研修等を行い、ICTの効果的な活用を考え実践していく。また、教員間で情報を共有しながら授業改善に努める。
下半期	・前期の反省を踏まえた目標実現のための取組。 ・1年間のまとめと次年度に向けての目標設定。

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心 担当 道徳係・人権係	生徒が教材内容を自分事として主体的に考え、物事を広い視野から多面的・多角的に考える授業を目指す。人権や平和について、生徒の発達段階に応じた学習を進めていく。ボランティアをはじめとする地域との関わりや集団活動を通じて、生徒の自己有用感を育む機会をつくっていく。
豊かな心に関わる本校の状況	
学校の内外を問わず誰に対しても挨拶を行うことや、地域のボランティア活動に積極的に参加することなど、学校教育目標である「認めあい」「高めあい」「助け合い」を実践している生徒が年々増えている。 一方で、相手の気持ちを考える想像力が不十分なことから、他者との関係がうまく築けない生徒が増えている現状もある。自己肯定感や自己有用感をもち、自分だけでなく他者も尊重できる心を育て、誰もが安心して学校生活を送れる環境をつくるのが課題である。	
今年度の目標	
道徳の授業を中心に、全教育活動を通じて生徒が自分も他者も尊重する心を育てていく。	
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	・だれもが安心して生活できる学校風土の醸成を目指し、「子どもの社会的スキル横浜プログラム」等を活用しながら、生徒が自他の人格や生命を尊重する心の育成を図る。 ・既存の教材の活用法や資料の保管法などを検討し、道徳の授業の充実を図る。 ・教員の授業力向上に向けて、道徳の授業についての研修等を実施する。
下半期	・人権講演会や発達段階に応じた学年別の人権の授業を通じて、人権週間の取組を充実させる。 ・道徳の授業について生徒と職員との振り返りを行い、1年間のまとめと次年度に向けての検討を行う。

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体 担当 保健体育科	4月に身体計測、体力測定を行う。学期ごとに体力テストを行い、その変化を知る。また、経年変化を見て、学校全体として取り組まなければならない課題を整理し、生徒に周知していく。保健安全係より、熱中症予防、感染症予防、生活習慣の改善、薬物乱用防止の啓発活動を行っていく。

健やかな体に関わる本校の状況

昨年度までの状況を踏まえて、年間を通して体力向上に取り組んできたが、男女ともに柔軟性と持久力に課題があることが分かった。次年度の体力テストの分析とともに継続的な課題解決を図ることが求められる。1000人近い生徒人数に対してコロナ感染症にかかる人数は比較的少なかったようであるが、体調不良で早退する生徒も少なくなく、健やかな体づくりが必要である。熱中症や薬物乱用、生活習慣等の話題が問題になることは昨年の段階ではなかった。今後も継続指導を行う必要がある。

今年度の目標	
・体力テストの結果を十分に分析し、継続的な運動を行い体力向上を目指す。 ・熱中症予防、感染症予防、生活習慣の改善、薬物乱用防止に努める。	
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	身体測定、健康手帳への転記と1年間の成長を知る。 体力測定、結果を見て、昨年度との比較、全国平均との比較をしながら、基礎体力向上の目標設定をする。 体育、部活、休み時間、行事などあらゆる場面で基礎体力向上の運動実践をする。 熱中症予防、感染症予防、生活習慣改善、薬物乱用防止を放送やプリントを配布、掲示物などによる啓発を行う。
下半期	前期に引き続き継続的な取組。学期ごとの体力測定。 1年間のまとめと来年度に向けての目標設定。